CASE 05

島根大学医学部附属病院

Shimadaizm 広く診る、深く学ぶ
私たちは研修修了と専門医取得を確約します



■ 臨床研修医 2年次
荒木（あらき） 仁志（ひとし）
出身大学：島根大学
出身都道府県：島根県
趣味：読書・旅行・SNS



研修医へINTERVIEW

── 研修先をこの病院に決めた理由と経緯を教えてください

荒木 出身大学であり、慣れ親しんだ環境で研修できる点に加え、診療科の種類が豊富で自由度の高い研修が可能な点、さらにcommon diseaseに強い県内各地の病院や保健所での研修など、幅広い選択肢が用意されている点に魅力を感じました。また、指導医の先生方はいずれも教育熱心で、研修体制としても適度な負荷と十分な休息が確保されていることから、医師としての土台を着実に築いていくことができると考え研修先に選びました。



── この病院の臨床研修の良いところを教えてください

荒木 Shimadaizmコース・たすきがけコース・重点コースと複数のプログラムが用意されており、県内外の研修病院とも連携しながら、自分の見据える将来像に沿って研修を進められる点が強みです。大学病院ならではの難症例を経験しやすいことに加え、全国有数の設備を有する高度外傷センターが併設されているため、外科救急を集中的に学ぶこともできます。また、研修医室は広く快適で、日々の研修生活を送る環境としても申し分ないと感じます。

── 医学生へのメッセージをお願いします

荒木 当院では、大学病院ならではの強みと市中病院の良さを組み合わせた研修が可能であり、自分に合ったカリキュラムのもとで成長していける環境があります。また、卒後臨床研修センターによる日々のサポートも手厚く、卒後3年目以降の進路についても早い段階から支援や情報提供を受けることができます。興味のある方がいらっしゃれば、当院の見学・そして研修をぜひともお待ちしております。







■ 研修責任者
大嶋（おおしま） 直樹（なおき）
専門科目：消化器内科
出身都道府県：島根県
趣味：旅行

指導医Q&A

研修の特徴と独自のポイントは？

①たすきがけプログラム：県内外の9研修施設で1年間、特徴ある研修が可能です。
②Shimadaizmプログラム：附属病院で2年間の研修を行います。研修先を自主的に設定できるコース、麻酔科・救急・外科系・外傷系の専門コースも選択できます。
③重点プログラム：小児科重点および産婦人科重点プログラムがあります。

医学生へのメッセージをお願いします

厚労省の定める臨床研修指導医講習会を修了した熱心な指導医が多数所属しています。卒後臨床研修センターでは、定期的な研修医会、指導医会、および研修管理委員会を通じて、研修医の皆さんにきめ細やかな支援を提供するとともに、専門研修へシームレスな移行を約束します。皆さんからの連絡を心待ちにしています！！

HOSPITAL DATA

病床数…… 600 床
診療科目数… 36 科
常勤医師数 376 名
指導医数 …207 名
臨床研修医数 …. 9 名
　1年次 …… 1名
　2年次 ……8名
外来患者数 ……860.6 名/日
入院患者数 ……520.2 名/日
救急外来患者数 … 27.5 名/日
救急車搬入患者数 .. 7.5 名/日

診療科

内分泌代謝内科、腫瘍内科、血液内科、消化器内科、肝臓内科、脳神経内科、膠原病内科、呼吸器・化学療法内科、腎臓内科、循環器内科、皮膚科、形成外科、小児科、消化器外科、肝胆・膵外科、小児外科、乳腺・内分泌外科、心臓血管外科、呼吸器外科、整形外科、脳神経外科、泌尿器科、精神科神経科、産科、婦人科、耳鼻咽喉科、眼科、放射線科、放射線治療科、麻酔科、救急科、歯科口腔外科、臨床検査科、病理診断科、リハビリテーション科

臨床研修協力施設

宇治徳洲会病院、東京科学大学病院、雲南市立病院、邑智病院、出雲市民病院、東京科学大学病院、済生会江津総合病院、出雲徳洲会病院、松ケ丘病院、西川病院、海星病院、石東病院、隠岐島前病院、鹿島病院、こころの医療センター、隠岐病院、町立奥出雲病院、加藤病院、津和野共存病院、浜田市国保診療所連合体（弥栄診療所、波佐診療所、あさひ診療所）、西部島根医療福祉センター、飯南病院、大曲診療所、島根県内保健所ほか

院内勉強会

毎週水曜日早朝セミナー、救急症例カンファレンス、レントゲン写真読影勉強会、基本手技研修、気道管理・人工呼吸管理研修、CV研修、胸腔穿刺他

募集要項

・**採用人数**：12名　・**身分**：臨床研修医
・**試験内容**：作文試験および面接
※試験実施日は5月頃に卒後臨床研修センターホームページに掲載予定

病院処遇

・**基本給**：1年次310,000円、2年次341,000円（臨床研修手当含む）
・**諸手当**：夜間救急診療業務手当、救急勤務医手当、夜勤手当、住居手当、通勤手当、扶養手当
・**休日・休暇**：土日、法令に規定された休日（年末年始を含む）、有給休暇（20日）、病気休暇、特別休暇（リフレッシュ休暇、結婚休暇、夏季一斉休業、忌引、産前産後 ほか）
・**当直回数（月）**：救急休日 日勤・夜勤勤務3回
・**臨床研修への支援**：学会発表をする場合は年1回旅費を支給、学会参加費一部支給、BLS、ACLSなど救急研修に伴う受講料など一部支給
・**臨床研修医の時間外労働の上限時間**：A水準
・**宿日直許可**：なし（勤務扱い）

月額給与モデル

支給総額……367,000円（※529,000円）
基本給…… 310,000円
住居手当…28,000円（病院から3kmの民間アパート居住）
通勤手当…… 2,000円
救急勤務医手当等… 27,000円
（救急並行研修 ※夜勤1回、日勤1回）
（※救急ブロック研修月は189,000円）
※あくまでもモデルであり、実際の支給額は個人の状況により異なります。